

NIIGATA UNIVERSITY  
2024



真の強さを学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

# 01 理念

## 自律と創生



新潟大学は、かつて「越（高志）」と呼ばれた地に生まれた敬虔質実の伝統と、幕末の開港5港の一つとして世界に開かれた海港都市（新潟市）の進取の精神を受け継ぎながら、1949年5月に新制国立大学として発足しました。新潟大学の全学の理念

は「自律と創生」です。その理念のもとで、2030年に向けた本学の将来ビジョンでは、21世紀における「ライフ・イノベーションのフロントランナー」となることを目指しています。

学長 牛木辰男

[新潟大学将来ビジョン2030](#)



## TOPICS

# 02 新潟大学創立75周年

2024年、新潟大学は創立75周年を迎えます。

[記念  
ロゴマーク](#)

[記念  
キャッチコピー](#)

[創立75周年  
特設サイト](#)



新たな挑戦  
大きな貢献



[新潟大学創立75周年記念募金](#)

創立75周年を契機として、五十嵐・旭町キャンパスの健康スポーツゾーンの整備や新潟大学将来ビジョン2030の実現に向けた取り組みを推進することで、次世代の人材育成と科学の発展に寄与し、社会に貢献することを目的としています。

## 03 メジャー・マイナー制

本学では、「メジャー・マイナー制」を導入しています。「メジャー・マイナー制」とは、学生が所属する学部での専門の学び（メジャー）と、自分がチャレンジしたい分野での学び（マイナー）を両立して、体系的に学修するしくみです。マイナー修了者には、修了証が発行されます。この制度は、「全学分野横断創生プログラム(NICEプログラム)」として整備されています。

社会的課題に複眼的視野により  
アプローチできる人材の育成



学部の枠を超えた  
分野横断型学修

アカデミック・  
アドバイザーによる  
サポート体制

マイナー修了者への  
修了証の発行

## 04 博士人材の育成

本学は、2021年度より国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)による博士支援事業の実施機関として採択され、延べ120名の博士学生に対して経済的及び研究的支援を行ってきました。2024年度には、JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に新たに採択されました。本支援プログラムでは、経済的支援に加え、国際的にも通用する研究が出来る環境の整備、PhDリクルート室による多様なキャリアパス形成に必要なコンテンツの提供を行い、「未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー」となる博士人材を育成します。

多様な分野で未来のイノベーションを創出する先端未来人材

ベンチャー企業の輩出 修了後も新潟大学と連携

学位プログラム

研究  
専門力

新潟大学



専門深化  
支援

博士学生支援プログラム

キャリア  
支援

融合研究  
支援

博士交流  
ネット  
ワーク

新潟大学 + JST

# 05 新潟大学の生い立ち



# 06 組織

## 教育研究院

- 人文社会科学系
- 自然科学系
- 医歯学系

## 学部

- 人文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済科学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 工学部
- 農学部
- 創生学部

## 附置研究所

- 脳研究所
- 災害・復興科学研究所

## 医歯学総合病院

## 全学共同教育研究組織

- アジア連携研究センター
- 佐渡自然共生科学センター
- 日本酒学センター
- ビッグデータアクティベーション研究センター

## 大学院

- 教育実践学研究科
- 現代社会文化研究科
- 自然科学研究科
- 保健学研究科
- 医歯学総合研究科

## 別科

- 養護教諭特別別科

## 附属学校園

- 幼稚園
- 新潟小学校
- 新潟中学校
- 長岡小学校
- 長岡中学校
- 特別支援学校

(2024年4月1日現在)

# 07 学生数・教職員数

## 学部生数 10,006人

学部	人数
人文学部	913
教育学部	774
法学部	734
経済学部	21
経済科学部	1,458
理学部	899
医学部	1,479
歯学部	365
工学部	2,321
農学部	762
創生学部	280
<b>合計</b>	<b>10,006</b>

## 教職員数 2,600人

区分	人数
役員	10
教授	293(50)
准教授	347(36)
講師	69(18)
助教	377(116)
助手	6(111)
教諭	113
事務・技術 医療系職員	1,385(331)
<b>合計</b>	<b>2,600(662)</b>

## 大学院生数 2,112人

大学院	人数
教育実践学研究科	
専門職学位課程	36
現代社会文化研究科	
博士前期課程	124
博士後期課程	78
自然科学研究科	
博士前期課程	1,063
博士後期課程	198
保健学研究科	
博士前期課程	49
博士後期課程	46
医歯学総合研究科	
修士課程	52
博士前期課程	9
博士後期課程	13
博士課程	444
<b>合計</b>	<b>2,112</b>

## 別科学生数 50人

別科	人数
養護教諭特別別科	50

※特任教員等は、( )により外数にて区分。

(2024年5月1日現在)

# 08 入学状況

## 学部入学者 (2024年度)

学 部	入学定員	志願者数	入学者数
人文学部	210	750	221
教育学部	180	441	188
法学部	170	491	172
経済科学部	350	903	350
理学部	200	483	208
医学部	300	1,178	300
歯学部	60	326	62
工学部	530	1,132	545
農学部	175	462	177
創生学部	65	212	69
合 計	2,240	6,378	2,292

※選抜試験(公募しているもの)の選抜結果。

(ダブルディグリープログラムや国費など公募によらない選抜分は計上していない)

## 大学院入学者 (2024年度)

### 専門職学位課程

研究科名	募集人員	志願者数	入学者数
教育実践学研究科	20	18	15
合 計	20	18	15

### 修士課程[博士前期課程]

研究科名	募集人員	志願者数	入学者数
現代社会文化研究科	60	64	35
自然科学研究科	487	611	535
保健学研究科	20	30	22
医歯学総合研究科	26	25	19
合 計	593	730	611

### 博士課程[博士後期課程]

研究科名	募集人員	志願者数	入学者数
現代社会文化研究科	20	14	14
自然科学研究科	70	44	44
保健学研究科	6	10	10
医歯学総合研究科	104	75	73
合 計	200	143	141

# 09 進路・就職状況

## 学部卒業生 (2023年度)

学部学科	進学	公務員	教員	就職 (医療・福祉)	就職 (左記以外)	計
人文学部	19 (9.5%)	41 (20.6%)	10 (5.0%)	7 (3.5%)	122 (61.3%)	199
教育学部	16 (9.1%)	16 (9.1%)	110 (62.9%)	3 (1.7%)	30 (17.1%)	175
法学部	8 (4.9%)	69 (42.6%)	1 (0.6%)	7 (4.3%)	77 (47.5%)	162
経済学部	0 (0.0%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (93.8%)	16
経済科学部	10 (3.4%)	82 (27.5%)	0 (0.0%)	3 (1.0%)	203 (68.1%)	298
理学部	109 (58.0%)	17 (9.0%)	9 (4.8%)	0 (0.0%)	53 (28.2%)	188
医学部医学科	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	115 (100.0%)	0 (0.0%)	115
医学部保健学科	22 (14.0%)	15 (9.6%)	0 (0.0%)	119 (75.8%)	1 (0.6%)	157
歯学部歯学科	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	30 (100.0%)	0 (0.0%)	30
歯学部口腔生命福祉学科	2 (8.0%)	6 (24.0%)	0 (0.0%)	16 (64.0%)	1 (4.0%)	25
工学部	350 (65.3%)	23 (4.3%)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	162 (30.2%)	536
農学部	85 (50.6%)	30 (17.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (31.5%)	168
創生学部	2 (3.3%)	12 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	46 (76.7%)	60
計	623 (29.3%)	312 (14.7%)	130 (6.1%)	301 (14.1%)	763 (35.8%)	2,129

(2024年5月1日現在)

※医学部医学科と歯学部歯学科の臨床研修医は「医療・福祉」に含む。

※進学、就職以外の者は除く。 ※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合あり。

## 大学院修了生 (2023年度)

研究科	進学	公務員	教員	就職 (医療・福祉)	就職 (左記以外)	計
教育実践学研究科(専門職学位課程)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	14 (93.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15
現代社会文化研究科(博士前期)	4 (15.4%)	5 (19.2%)	2 (7.7%)	1 (3.8%)	14 (53.8%)	26
現代社会文化研究科(博士後期)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4
自然科学研究科(博士前期)	37 (7.6%)	23 (4.7%)	10 (2.0%)	1 (0.2%)	418 (85.5%)	489
自然科学研究科(博士後期)	0 (0.0%)	3 (16.7%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	14 (77.8%)	18
歯学部総合研究科(修士、博士前期)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	4 (33.3%)	3 (25.0%)	12
歯学部総合研究科(博士、博士後期)	0 (0.0%)	9 (10.6%)	23 (27.1%)	45 (52.9%)	8 (9.4%)	85
保健学研究科(博士前期)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	1 (5.9%)	11 (64.7%)	2 (11.8%)	17
保健学研究科(博士後期)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4
計	47 (7.0%)	42 (6.3%)	60 (9.0%)	62 (9.3%)	459 (68.5%)	670

(2024年5月1日現在)

※進学、就職以外の者は除く。 ※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合あり。

# 10 学生支援

## きめ細かい相談体制

本学では、学生が充実した学生生活を送れるよう、学部の担当教員をはじめ、きめ細かい相談体制でサポートしています。



## 輝け未来！！

### 新潟大学入学応援奨学金

本学への入学を希望しながら経済的理由により進学を断念せざるを得ない学業優秀者に対して、入学時に必要となる学資の一部(40万円※)を給付します。また加えて、自宅が遠く通学が困難な場合は、学生寮(五十嵐寮)の入居枠を優先確保します。

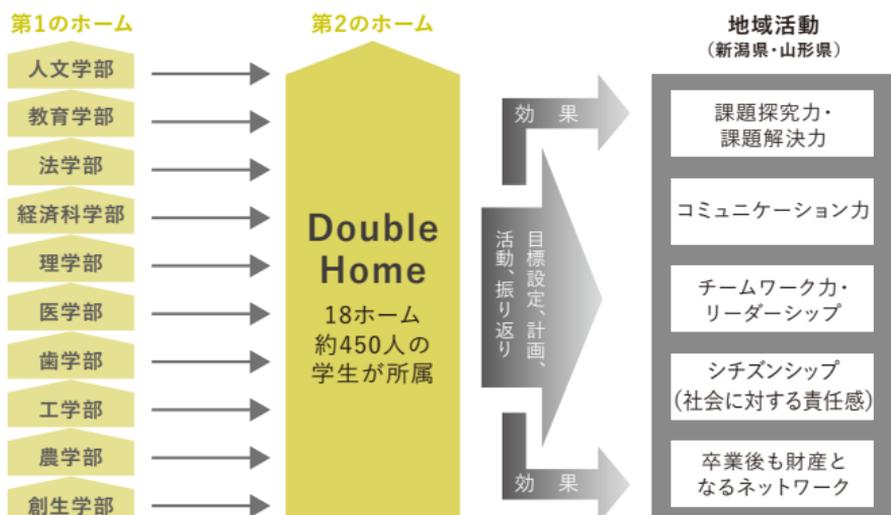
※2024年度入学者への給付額です。

## 入学時及び在学中の経済的支援

<b>輝け未来！！</b> <b>新潟大学入学応援奨学金</b> ※他の奨学金と併用可	日本学生支援機構給付奨学金+入学料・授業料免除と貸与奨学金(第一種、第二種、入学時特別増額貸与)
	本学独自の入学料・授業料免除および徴収猶予制度
	新潟大学修学応援特別奨学金(月額3万円[12ヶ月限度])
	新潟大学修学支援貸与金制度(5~10万円)
入学時	在学中

# 11 ダブルホーム

ダブルホームは、地域や仲間の思いを大切にしながら、正解のない地域課題に、学生・教員・職員によるチームで取り組むプログラムです。第1のホームである学部・学科という専門の学びの場を越えてつくる第2のホームで「新たなふるさとづくり」としての地域活動を行っています。



# 12 国際交流

## 外国人留学生の受け入れ

グローバルキャンパスの構築を目指して、短期(数週間)、交換留学(セメスター)、学位プログラムを通じた留学生の受け入れを推進しています。

<b>外国人留学生数</b> (2024年5月1日現在) ※「留学」の在留資格を有する学生 ※54の国・地域から	<b>517人</b>
<b>外国人学生数</b> (2023年度延べ) ※上記外国人留学生に加え、「留学」以外の在留資格を有する外国人学生を含む	<b>962人</b>

## 学生の海外派遣

グローバル人材育成を推進するため、目的や学習段階に応じて、学生に海外留学の機会を幅広く提供しています。

<b>海外留学者数</b> (2023年度実績)	<b>470人</b>
交換留学等による中長期(3か月以上)の留学	42人
短期(3か月未満)の海外派遣プログラム参加等 ※調査・研究・学会参加等を含む	428人

## オンラインによる教育交流

コロナ禍における渡航型留学の代替として急速に発達した、オンラインなどICTを活用した多様な国際教育プログラムをコロナ後も継続して留学交流を促進しています。(2023年度は本学学生119人と海外協定校の学生98人がオンライン留学プログラムに参加)

## 交流協定

海外の大学等と交流協定を締結し、教育・研究交流に係る国際ネットワークの構築を推進しています。

<b>交流協定数</b> (2024年5月1日現在) ※海外45か国・地域	<b>366件</b>
--	-------------



# 13 共創イノベーションプロジェクト(共創IP)

地域との共創による地域創生を推進するため、2022年度から共創イノベーションプロジェクト(共創IP)を開始しました。新潟が持つ国際的優位性やブランド力と、本学が培った最新の科学・技術・学術の「知」を組み合わせた重点領域を設定し、新潟をより魅力的な地域へ発展させるプロジェクトを推進しています。地域と大学の対話の場として、「紡(つむぎ)の会」を定期的に開催しています。

## 現在構築中のプロジェクト

- コメ共創IP 
- おいしさDX共創IP 
- モノづくり共創IP 
- 防災街づくり共創IP 
- 地域医療DX共創IP 
- 佐渡共創IP 



第2回紡の会の様子

# 14 新大コシヒカリ

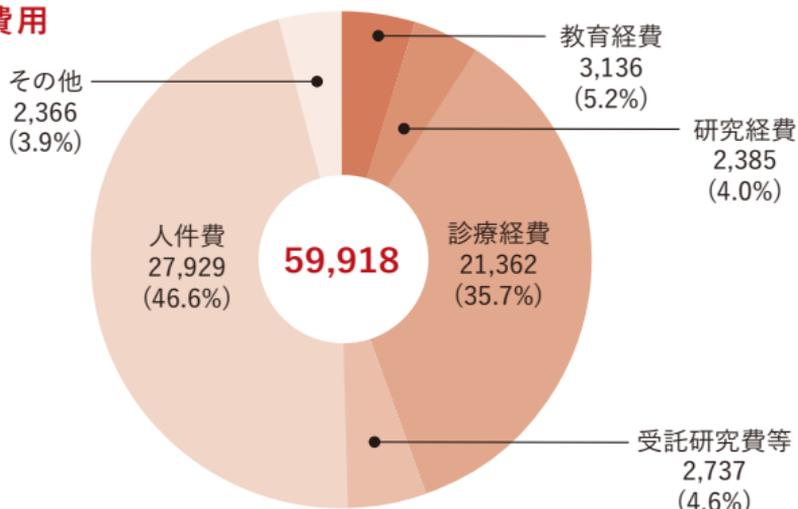
近年の気候変動に起因するコメの品質低下・生育不良に対応すべく、新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターの研究グループが約20年かけて開発に成功した、高温・高CO<sub>2</sub>耐性を有する新たな品種です(品種登録:第27856号)。2022年に名称を一般公募し、選定委員会での厳正なる審査の結果、「新大コシヒカリ」として、2023年7月に商標登録をしました。現在は、首都圏や新潟市内の百貨店等で販売を行っています。



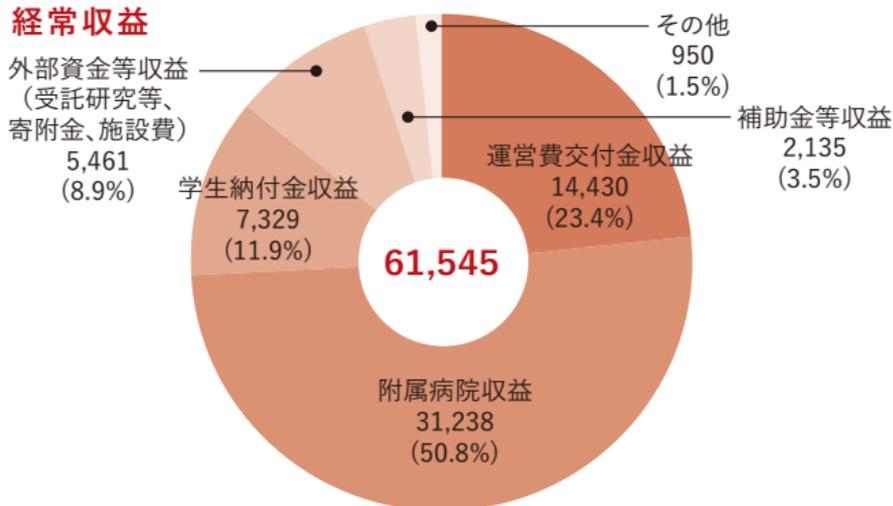
# 15 財務状況 (2022年度)

単位:百万円

## 経常費用



## 経常収益



# 16 科学研究費助成事業採択状況 (2023年度)

内定件数	760件
交付金額	約13億円(直接経費)

# 17 外部資金受入状況 (2023年度)

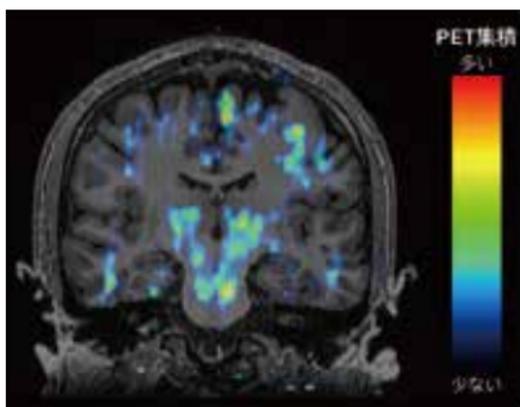
区分	受入件数	受入額
共同研究	287件	615,971千円
受託研究	334件	1,864,535千円
寄附金	3,963件	1,446,150千円
合計	4,584件	3,926,656千円

## 18 脳研究所

1967年に日本で最初の脳神経に関する国立大学附属研究所として設立された脳研究所は、アルツハイマー病や脳腫瘍などのヒト脳疾患の病因・病態解明を目指しています。近年、ガンや心血管疾患の治療が進む一方で、高齢化が進展し、加齢に伴う脳疾患（特にアルツハイマー病など）の患者数は急増し、社会的な問題となっています。そのため、脳研究所では先進的な診断法や新しい治療法の開発に積極的に取り組んでいます。



世界最大規模：3万点の凍結脳標本を保存している超低温冷凍庫



脳病態PETイメージングでとらえた前頭側頭葉変性症のタウ病変

## 19 災害・復興科学研究所

積雪地域における自然災害とその対策技術の研究を目的として、前身である積雪地域災害研究センターが1978年に設置されました。現在では、日本海側唯一の総合的災害研究機関として、変容かつ激化する自然災害に対して適応能力が高いレジリエントな社会の構築を目指し、日本海側地域や積雪地域に特有な災害に焦点を当てて、そのメカニズム解明と減災に関する研究を国内外の研究機関と連携して推進しています。



2024年能登半島地震による液状化被害調査



国道8号における大雪による大規模車両滞留調査  
(2022年12月)

# 20 全学共同教育研究組織

## アジア連携研究センター

アジア地域をフィールドにして、学内外の研究者が連携しながら、文理融合、領域横断的な研究活動を進めています。



シンガポールでのアニメ中間素材展

## 佐渡自然共生科学センター

森林領域（演習林）、里山領域（朱鷺・自然再生学研究施設）及び海洋領域（臨海実験所）の3つの領域・施設で構成され、地域と連携、協働しながら、新しい「自然共生科学」の展開を目指しています。



演習林の天然杉

## 日本酒学センター

日本酒に関わる文化的・科学的な幅広い分野を網羅する世界初の学問領域「日本酒学(Sakeology)」。総合大学の強みを生かした領域横断型の研究を進めるとともに、新潟県および新潟県酒造組合と連携協定を締結して3者の力を結集し、日本酒に係る「教育、研究、情報発信、国際交流」に関する事業を展開しています。



大学院日本酒学プログラムでの酒造り(製麹)

## ビッグデータアクティベーション研究センター

高度デジタル社会における分野融合研究、人材育成、産学連携の推進を加速することを目的に、大規模データからの新たな知識の創発とヒューマンネットワークの活性化（アクティベーション）をらせん状に組合せ、学内外におけるイノベーションの実現を目指しています。



全学組織化記念シンポジウム(2023年10月12日)

## 21 医歯学総合病院

医科32診療科、歯科5診療科、計37診療科、827の病床を備え、地域の特定機能病院として高度かつ先進的な医療を提供しています。医歯学総合病院は、その理念である「生命と個人の尊厳を重んじ、質の高い医療を提供するとともに、人間性豊かな医療人を育成します」に基づく病院づくりを一層推進し、社会に開かれた医療を実践する大学病院を目指します。



医歯学総合病院全景

コワーキングスペース(I-DeA)



## 22 附属図書館

中央図書館(五十嵐キャンパス)と医歯学図書館(旭町キャンパス)で構成され、両キャンパスにおける教育研究活動を支援しています。両館に設置の「ラーニング・コモンズ」には、グループで学習するための什器や大型ディスプレイ等を整備し、主体的学習をサポートしています。



中央図書館



医歯学図書館

## 23 その他の施設

### ■ 駅南キャンパスときめいと

新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地  
ブラーカ1・2階

### ■ 佐渡サテライト

新潟県佐渡市河原田本町202番地  
インキュベーションセンター河原田本町1階

### ■ 農学部附属フィールド科学教育研究センター

- 村松ステーション 五泉市石曾根6934
- 新通ステーション 新潟市西区新通2156-1

# 24 キャンパスへのアクセス

## ■五十嵐キャンパス

[JR]

JR新潟駅 — (越後線/20分) → JR新潟大学前駅 → (徒歩/15分)

[新潟交通バス]

JR新潟駅バスターミナル — (新潟大学行き/45分) →  
新大正門 → (徒歩/1分)

[タクシー]

JR新潟駅 — (30分) → 五十嵐キャンパス

## ■旭町キャンパス

[JR]

JR新潟駅 — (越後線/5分) → JR白山駅 → (徒歩/10分)

[新潟交通バス]

JR新潟駅バスターミナル — (信濃町行き/15分) →  
市役所前 → (徒歩/3分)

[タクシー]

JR新潟駅 — (10分) → 旭町キャンパス

## ■新潟空港 → JR新潟駅

[新潟交通バス]

新潟空港 — (新潟駅前行き/30分) → JR新潟駅

[タクシー]

新潟空港 — (20分) → JR新潟駅



# 新潟大学公式アプリ

在学生、受験生、卒業生向けの情報をコンパクトにまとめ、随時お届けしています。



編集・発行／新潟大学広報事務室  
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地  
TEL.025-223-6161(代表)  
<https://www.niigata-u.ac.jp/>



真の強さを学ぶ。  
**新潟大学**  
NIIGATA UNIVERSITY